

労働安全衛生



労働災害防止活動

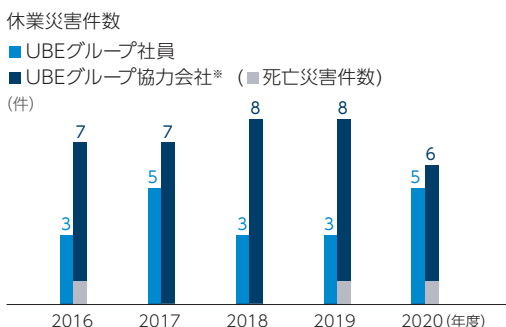
安全文化の醸成

従来から実施している安全活動の網羅性や有効性を高めるために、2016年度より「安全文化の醸成」の取り組みを開始しました。安全文化の構成要素は「組織統率」、「積極関与」、「資源管理」、「作業管理」、「動機づけ」、「学習伝承」、「危険認識」、「相互理解」の8項目としています。当社が定めた評価基準による結果に基づいて、事業所は課題を抽出し、安全文化の醸成計画を策定、実行することで継続的な改善を図っています。

重大災害の撲滅

UBEグループはこれまでさまざまな労働災害防止のための活動を行ってききましたが、2018

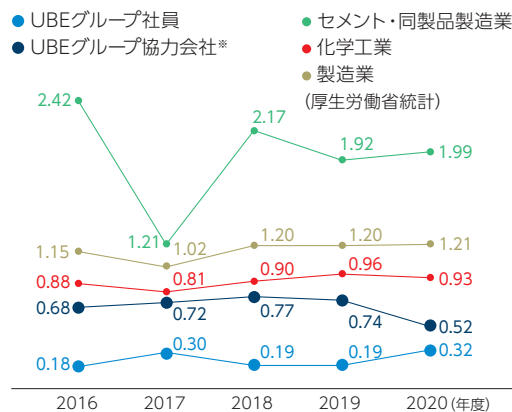
UBEグループ(国内)死亡・休業災害件数



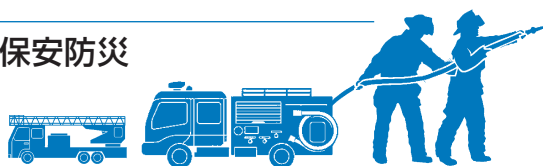
年度からは「重大災害の撲滅」を重点項目とする活動を始めました。重大災害に発展する可能性が高い「墜落・転落」、「挟まれ・巻き込まれ」、「有害物等との接触」作業のリスクアセスメントを実施しています。抽出されたリスクについて計画的なリスク低減対策の実行、および本質安全化を進めています。また、2020年度より「協力的会社*と一体となった安全活動の推進」を重点項目に追加し、活動を推進しています。

すべての休業災害、不休災害について、原因調査と対策を実施するとともに、対策実施後に有効性を確認し、水平展開することで類似事故の防止に努めています。

UBEグループの労働災害度数率



保安防災



UBEグループは、設備事故ゼロを目指した、安全・安心な設備の確保と操業のための保安活動、そして、自然災害が発生した場合の被害を最小に抑えるための自然災害対策活動を行っています。2020年度は「経年設備の事故に対する網羅的リスク対策」、「高圧ガス認定事業所の保安力向上」および「自然災害対策の推進」を重点実施項目として取り組みました。

「経年設備の事故に対する網羅的リスク対策」では、各事業所が経年設備の点検・検査の実行

と改善計画を策定し、活動しています。また、近年散見した電気設備トラブルの再発防止に向けた水平展開も実施しています。網羅的にリスク対策を行うことで、事故の起こり得ない事業所の構築に努めています。「高圧ガス認定事業所の保安力向上」では、特定非営利活動法人「保安力向上センター」による評価結果を踏まえ、改善対象項目を設定し、計画的な改善活動を進めています。「自然災害対策の推進」では、各事業所が「自然災害対策自己評価基準」に沿って自己評価を行い、継続的な改善を実施しています。さらに、石油化学工業協会(石化協)が作成した「産業保安に関する行動計画」への対応も推進しています。

産業保安に関する行動計画
「産業保安に関する行動計画」の取組状況は、「統合報告書2021資料編(環境安全)」のP4に掲載しています。



https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2021/integrated_report_environmental_safety_2.pdf

用語解説

* 協力的会社:P58の用語解説を参照。